

姫路市中心市街地活性化に関するアンケート報告書

■ 調査の目的

姫路市では、コンパクトで充実した各地域生活圏と高次都市機能を有する都心部が有機的に交流・連携する「姫路スタイル・コンパクトシティ」の構築を目標としており、その主核となる中心市街地の活性化を図るため、国の認定を受けた中心市街地活性化基本計画に沿って様々な取組みを進めています。

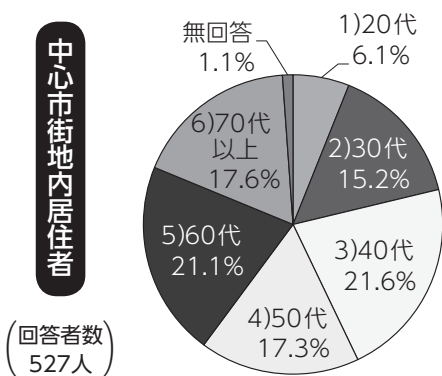
本アンケートは、現行の中心市街地活性化基本計画の最終的な評価と次期計画の策定に向けた基礎資料を得ることを目的に、市内在住の20歳以上の方の中から無作為に抽出した3,000の方を対象に郵送により実施しました。

■ 回答状況

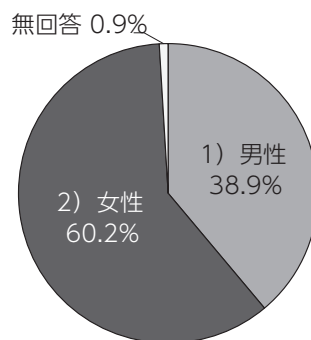
	郵 送	回 答
中心市街地内居住者	1,500 人	527 人 (回答率：35.1%)
中心市街地外居住者	1,500 人	523 人 (回答率：34.9%)
合 計	3,000 人	1,050 人 (回答率：35.0%)

■ 問 1 回答者について

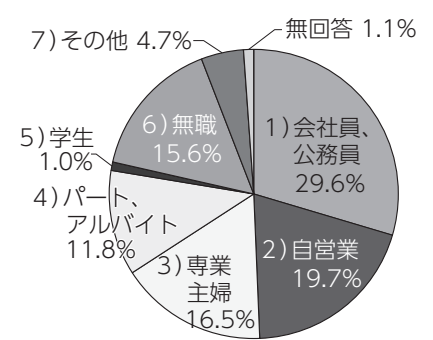
① あなたの年齢は？



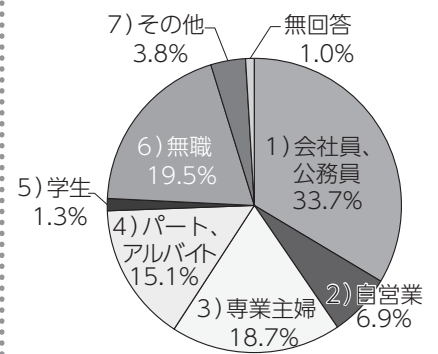
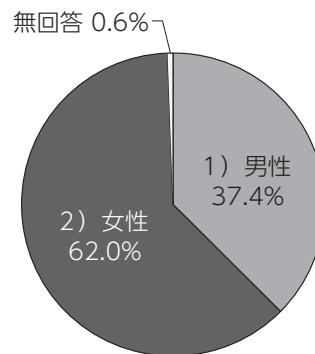
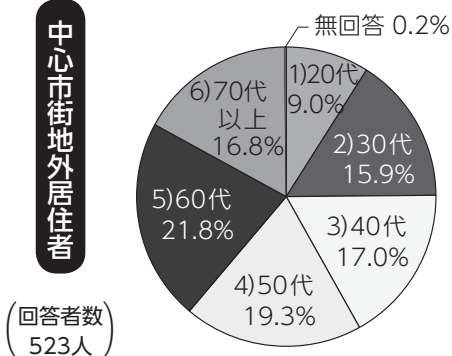
② あなたの性別は？



③ あなたの職業は？

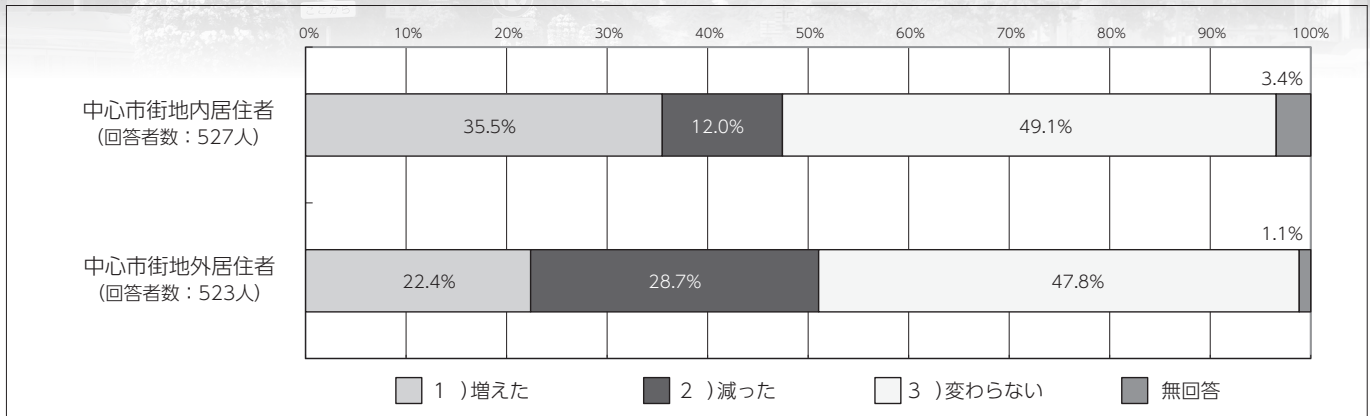


中心市街地外居住者



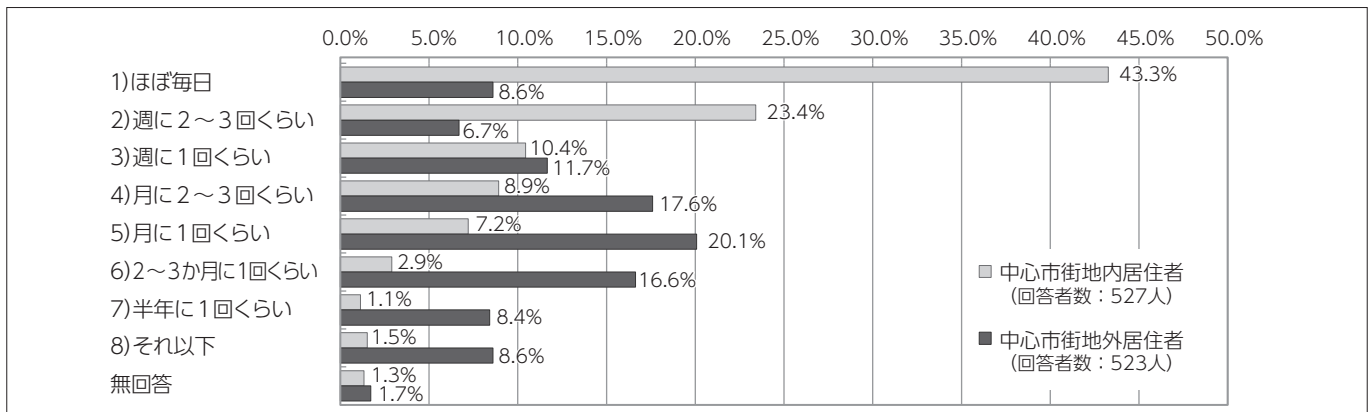
幅広い年代・職業の方から回答を得ています。特に、女性からの回答が約6割を占めています。

問2 最近5年間であなたが中心市街地に出かける回数は増えましたか。



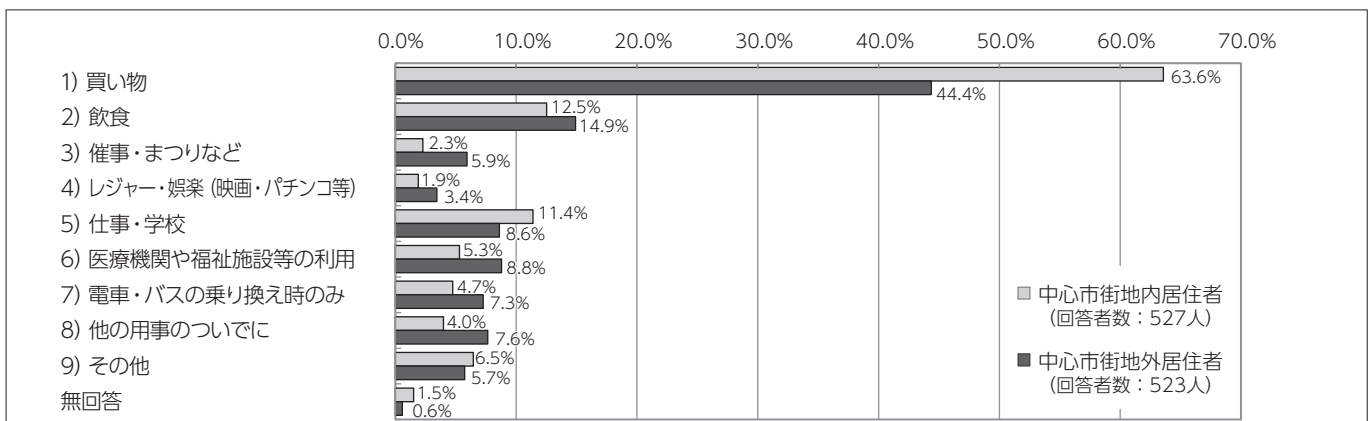
中心市街地内居住者、中心市街地外居住者のいずれにおいても、最近5年間で中心市街地に出かける回数は、「変わらない」との回答が最も多く、また、中心市街地内居住者では、「増えた」との回答が「減った」を上回っているのに対し、中心市街地外居住者では逆転するなど、居住地により結果が異なっています。

問3 あなたはどのくらいの回数で中心市街地に出かけますか。



中心市街地外居住者では、中心市街地を「月に1回くらい」訪れるという回答が最も多く、全体の50%以上は「月1回くらい」以下の頻度となっています。一方、中心市街地内居住者は、中心市街地を訪れる頻度はより高いものの、20%以上は「月に2~3回くらい」以下の頻度となっています。

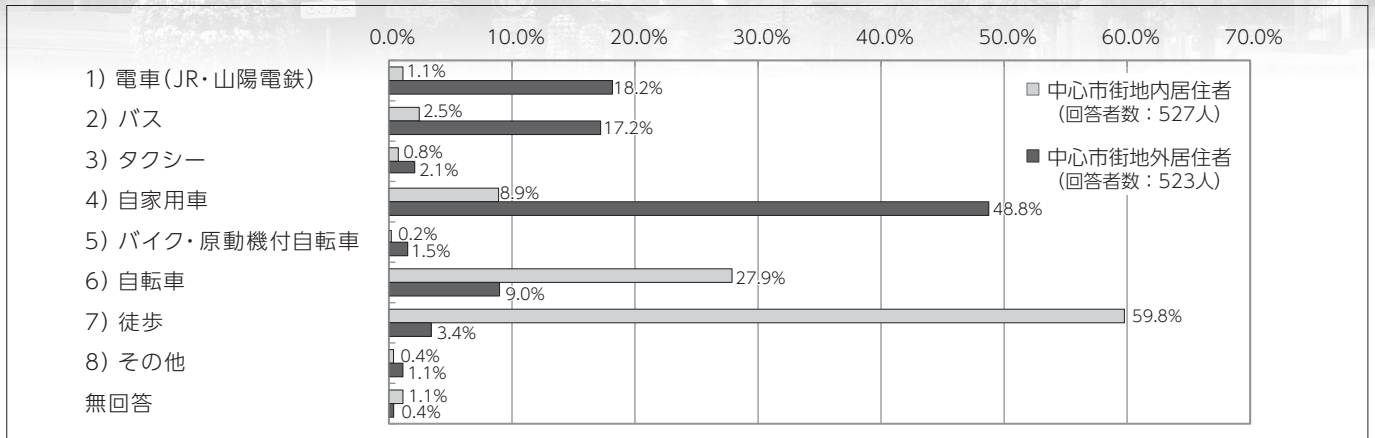
問4 あなたは主にどのような目的で中心市街地に出かけますか。(複数回答あり)



中心市街地に出かける目的は、居住地にかかわらず「買い物」、「飲食」が上位を占めますが、買い物目的で中心市街地へ出かける割合は、中心市街地内居住者が約19ポイント上回っています。

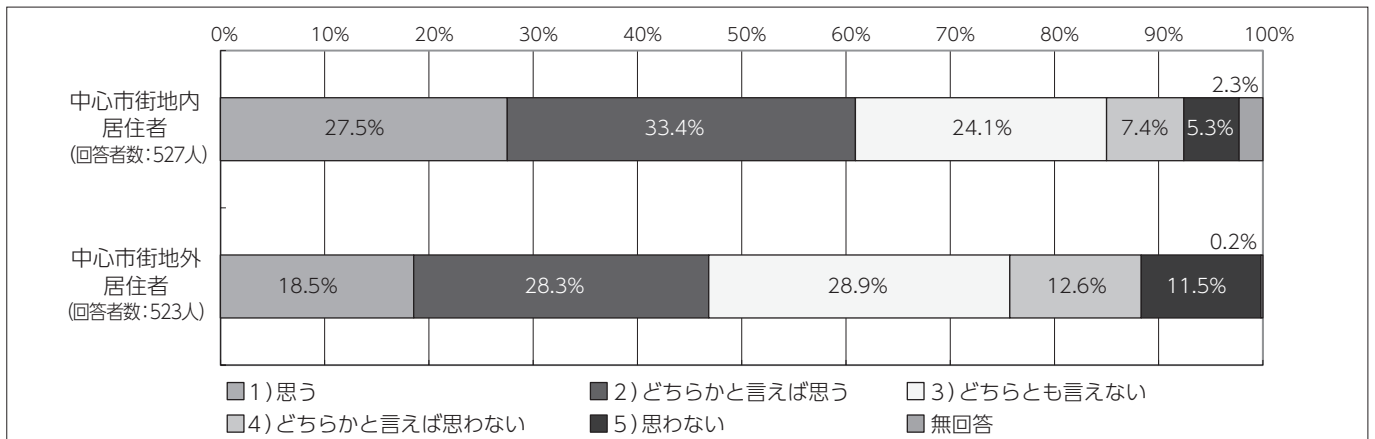
その他の意見として、居住地にかかわらず、銀行や市役所の利用、習い事などの目的で中心市街地を訪れています。

■ 問5 あなたが中心市街地に出かけるとき、どの交通手段を最後に利用しますか。(複数回答あり)



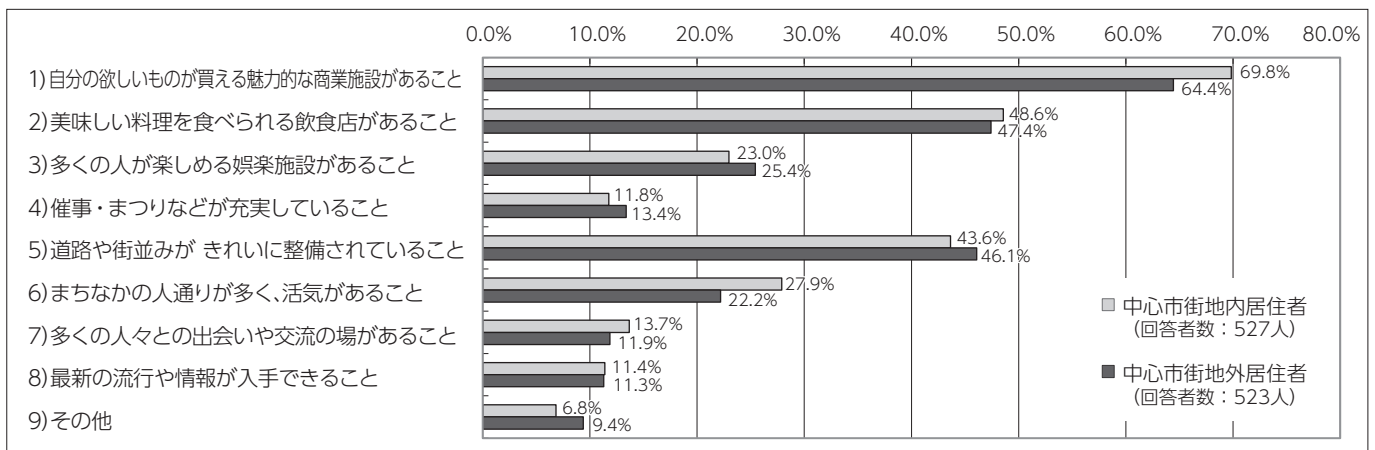
中心市街地へ出かける際の交通手段として、中心市街地内居住者は、「徒歩」、「自転車」がほとんどを占めています。一方、中心市街地外居住者は「自家用車」が最も多いなど、自動車への依存度が高い結果となっています。

■ 問6 最近5年間で、中心市街地は、あなたにとって行きたい場所になったと思いますか。



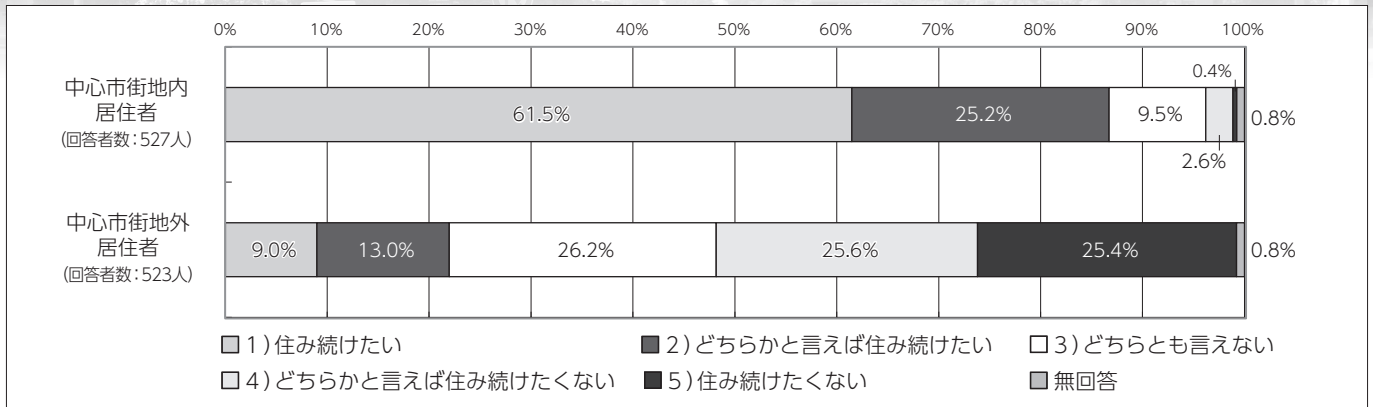
中心市街地内居住者では、中心市街地が行きたい場所、または、どちらかと言えば行きたい場所になったとの肯定的な回答があわせて約60%を占めるのに対し、中心市街地外居住者では、肯定的な回答が占める割合が、約47%となるなど、居住地により結果が異なっています。

■ 問7 中心市街地が行きたい場所であるためには、何が必要だと思いますか。(複数回答あり)



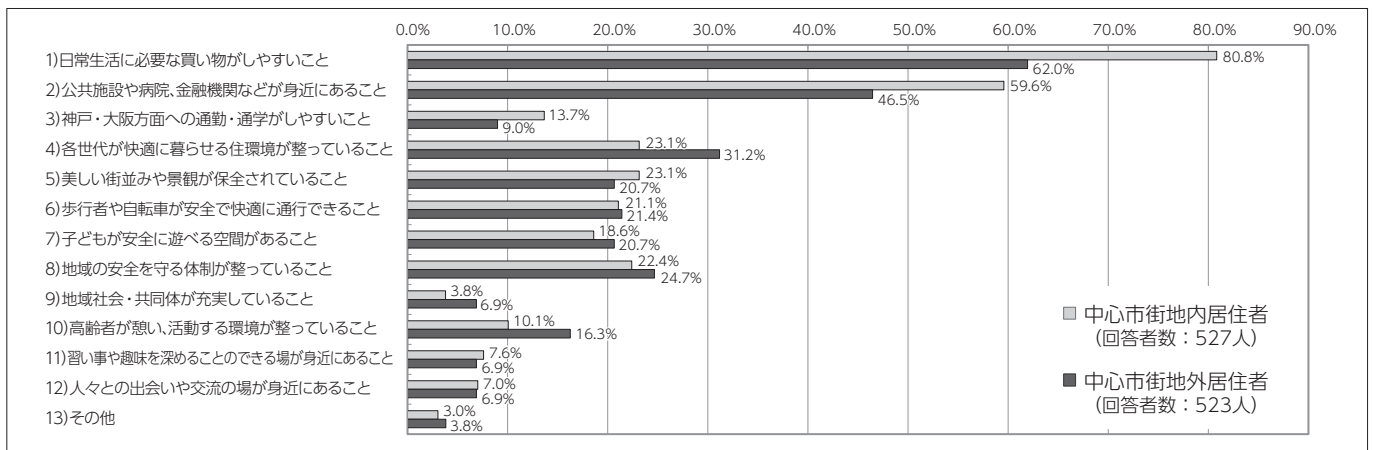
中心市街地が行きたい場所であるために必要なものとして、居住地にかかわらず「自分の欲しいものが買える魅力的な商業施設があること」、「美味しい料理を食べられる飲食店があること」、「道路や街並みがきれいに整備されていること」が上位を占めています。その他の意見として、「駐車場・駐輪場が整備されていること」や「治安がよいこと」などが必要だとの回答が多く見受けられます。

■ 問 8 あなたは中心市街地に住み続けたい／住みたいと思いますか。



中心市街地内居住者は大多数が「住み続けたい」、「どちらかと言えば住み続けたい」と回答している一方で、中心市街地外居住者では逆の回答が50%を超えています。

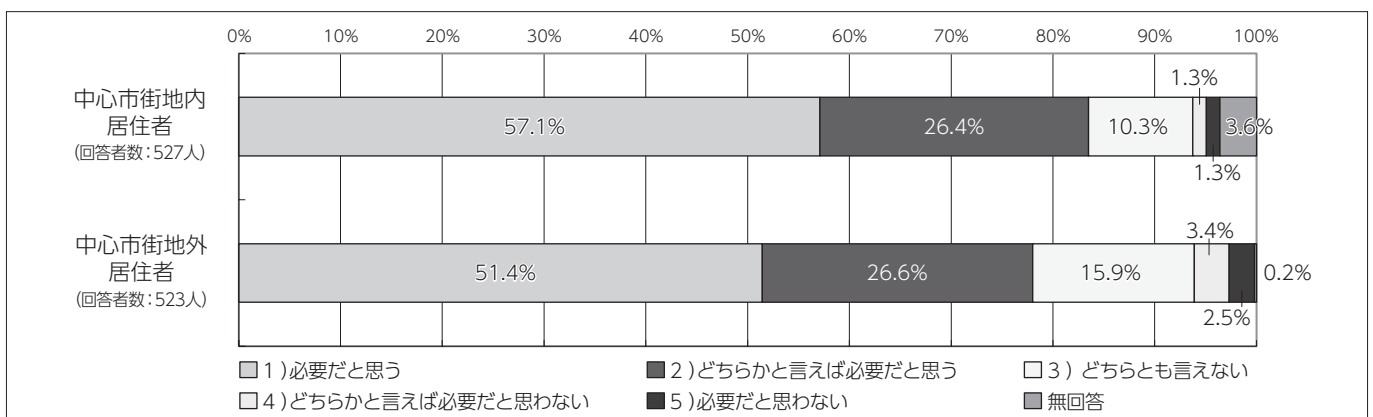
■ 問 9 住み続けたい／住みたい場所であるためには、何が必要だと思いますか。(複数回答あり)



住み続けたい／住みたい場所であるために必要なものとして、居住地にかかわらず「日常生活に必要な買い物がしやすいこと」や「公共施設や病院、金融機関などが身近にあること」が上位を占め、中でも、中心市街地内居住者の方が、前述の項目をより重視している傾向にあります。

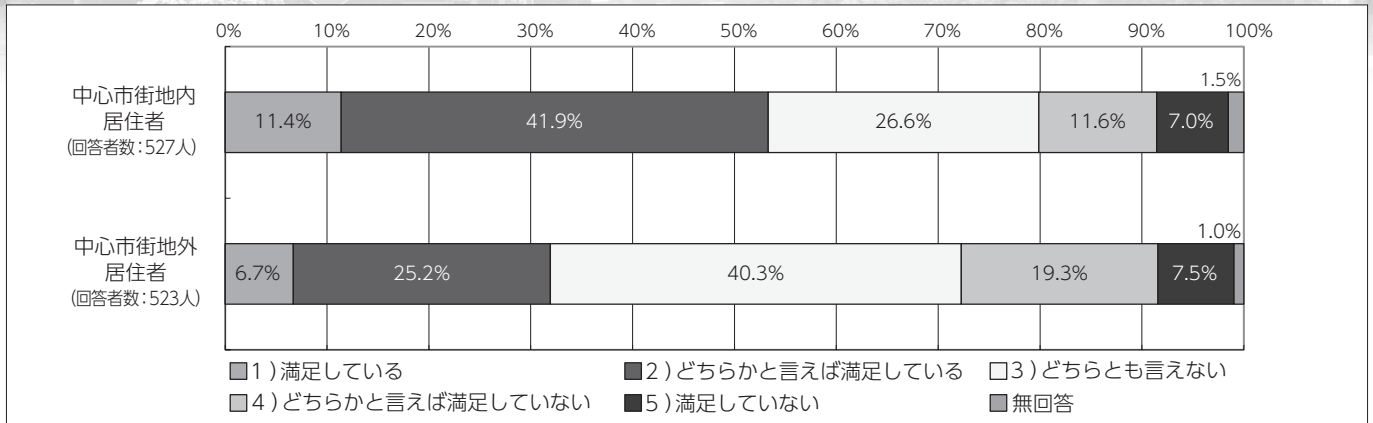
また、中心市街地外居住者では「各世代が快適に暮らせる住環境が整っていること」との回答が30%を超えています。その他の意見として、問7と同様に「駐車場や駐輪場の整備や安全・安心な環境が必要であること」との回答が多くなりましたが、中心市街地外居住者からは、「中心市街地を居住地として考えていない」との回答もありました。

■ 問10 あなたは中心市街地をにぎわいのある場所にすることが必要だと思いますか。



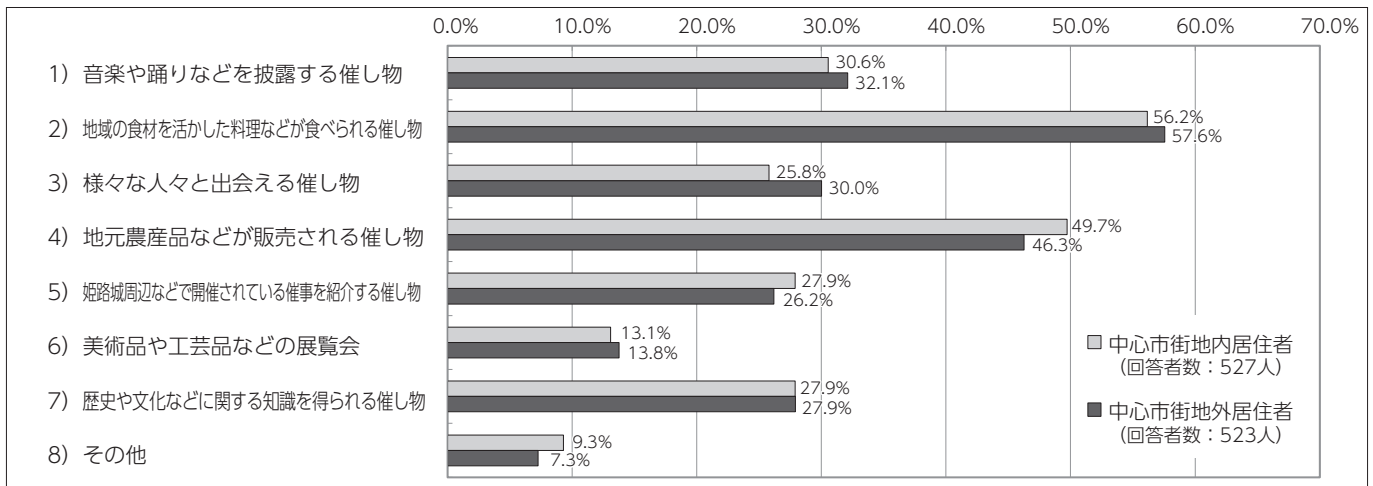
居住地にかかわらず、中心市街地をにぎわいのある場所にすることが「必要だと思う」、「どちらかと言えば必要だと思う」との回答があわせて80%程度を占めるなど、中心市街地活性化の必要性を多くの方が感じています。

問11 あなたは現在の中心市街地に満足していますか。



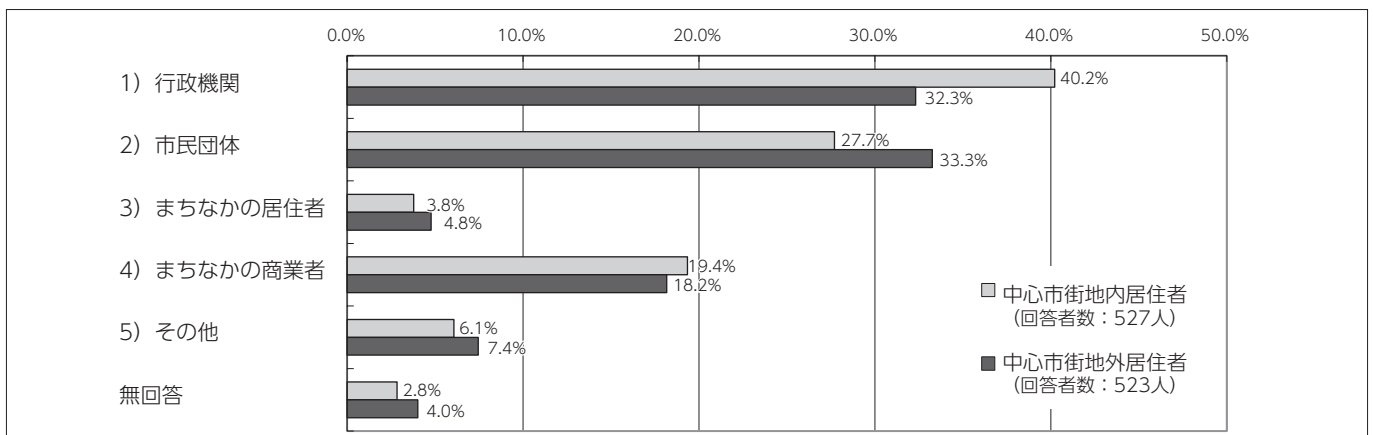
中心市街地内居住者が、現在の中心市街地に「満足している」、「どちらかと言うと満足している」をあわせると50%を超えるのに対し、中心市街地外居住者は、「どちらとも言えない」との回答が最も多いなど、居住地により異なる結果となっています。

問12 今後、姫路駅北駅前広場を中心に、どのような催し物を開催するべきだと思いますか。(複数回答あり)



居住地にかかわらず、今後、中心市街地を人々にとって魅力的でにぎわいのある場所にするためには、「地域の食材を活かした料理などが食べられる催し物」、「地元農産品などが販売される催し物」を開催するべきとの回答が上位を占めています。その他の意見として、「子どもが楽しめるイベントやフリーマーケットをはじめとする各種の催し物」をするべきとの回答がある一方、「どのような催し物が開催されているか知らない」や「催し物を開催するべきではない」との回答もあります。

問13 問12でお答えいただいた催し物を誰が開催するべきだと思いますか。



問12の催し物について、中心市街地内居住者では、「行政機関」が行うべきとの回答が最も多く、約40%を占めているのに対し、中心市街地外居住者では、「市民団体」が行うべきだとの回答が約33%を占めています。その他の意見として、特定の団体のみが催し物を開催するのではなく、様々な主体が連携して開催するべきとの回答が多くあります。